

授業デザイン FIRST STEP Vol.1 —小学校国語科「ICT 活用」編—



1 国語科の授業で ICT を活用するのは何のため？

社会の情報化を踏まえ、国語科で育成を目指す資質・能力を確実に身に付けさせるためです。児童の実態等に応じて、コンピュータや大型提示装置、情報通信ネットワーク等を活用する機会を設けることは重要です。

なお、ICT活用はあくまで手段であり、活用に当たっては育成を目指す資質・能力との関連を明確にすることに留意しましょう。



[☞ 文部科学省「国語科の指導における ICT の活用について」](#)

2 場面に応じた国語科におけるICT活用のイメージ(例)

ICT活用場面に応じた、ICT活用のイメージ(例)を参考に取り組んでみましょう。

ICT 活用場面	ICT 活用のイメージ(例)
情報を収集して整理する場面	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを活用して学習課題に関連する情報を調べ、集めた情報を内容に応じて整理する。 ・収集した情報をフォルダに保存し、表計算ソフトなどを活用してデータベース化する。
自分の考えを深める場面	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で考えたことを画面上の付箋に書き出し、その付箋を目的や意図に応じて分類する。 ・プレゼンテーションソフト上でスライドを並べ替えるなどして、自分の伝えたいことがより明確に伝わるよう、目的や意図、相手に応じて用いる情報を取捨選択したり、話や文章の構成を考えたりする。 ☞ 授業実践のまとめ ・デジタル教科書上で自分が重要だと考えた箇所に線を引き、友達と比較するなどして、考え直した場合に線を引き直す。 ☞ 授業実践のまとめ
考えたことを表現・共有する場面	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルカメラやカメラ付端末を活用し、スピーチや話合いの様子を録画・再生して自分の話し方を確認したり助言し合ったりする。 ・プレゼンテーションソフトを活用して発表資料を作成する。 ☞ 授業実践のまとめ
知識・技能の習得を図る場面	<ul style="list-style-type: none"> ・古文や漢文等の教材となる動画を視聴して、言葉の響きやリズムに親しむ。 ・書写の指導において、デジタル教科書等を活用して、点画の書き方への理解を深める。
学習の見通しをもったり、学習した内容を蓄積したりする場面	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の目的に応じてモデルとなるスピーチの動画を視聴し、学習の見通しをもつ。 ・以降の学習における様々な学習活動において自分の必要に応じて適宜参照できるように、学習した内容を個人のフォルダに蓄積する。 ☞ 授業実践のまとめ

文部科学省「GIGA スクール構想のもとでの国語科の指導について」を基に作成

[☞ 令和3年度「1人1台端末の活用アイデア集」](#)

[☞ 文部科学省「GIGA スクール構想のもとでの国語科の指導について」](#)



ICT 活用の詳細については、YouTube 文部科学省公式チャンネル nextchannel 「国語科の指導における ICT の活用について」を御参照ください。

